2026年11月10日
株式会社　百十四銀行

自己資本の構成に関する開示事項
2026年9月末

連結自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

項　　目			当四半期末 (2026年9月30日)	前四半期末 (2026年6月30日)
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額			289,333	287,353
	うち、資本金及び資本剰余金の額		67,984	67,808
	うち、利益剰余金の額		228,087	221,149
	うち、自己株式の額(△)		1,628	1,604
	うち、社外流出予定額(△)		5,110	—
	うち、上記以外に該当するものの額		—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額			25,007	25,731
	うち、為替換算調整勘定		0	△0
	うち、退職給付に係るものの額		25,007	25,731
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額			8	8
コア資本に係る調整後非支配株主持ち分の額			—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額			5,851	4,937
	うち、一般貸倒引当金コア資本算入額		382	352
	うち、適格引当金コア資本算入額		5,468	4,584
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
コア資本に係る基礎項目の額		(イ)	320,200	318,030
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額			4,965	4,642
	うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額		—	—
	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額		4,965	4,642
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額			—	—
適格引当金不足額			—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額			—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額			—	—
退職給付に係る資産の額			40,257	40,000
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額			3	9
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額			—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額			—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額			—	—
	うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		—	—
	うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		—	—
	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額			—	—
	うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		—	—
	うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		—	—
	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		—	—
コア資本に係る調整項目の額		(ロ)	45,226	44,652
自己資本				
自己資本の額((イ)−(ロ))		(ハ)	274,973	273,378
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額			1,353,196	1,323,780
	うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		—	—
		うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
		うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額			—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額			55,239	51,272
フロア調整額			1,210,221	1,198,438
リスク・アセット等の額の合計額		(ニ)	2,618,658	2,573,492
連結自己資本比率				
連結自己資本比率((ハ)／(ニ))(%)			10.50%	10.62%

単体自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

項　　目			当四半期末 (2026年9月30日)	前四半期末 (2026年6月30日)
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額			269,839	268,246
	うち、資本金及び資本剰余金の額		62,418	62,243
	うち、利益剰余金の額		214,159	207,607
	うち、自己株式の額(△)		1,628	1,604
	うち、社外流出予定額(△)		5,110	—
	うち、上記以外に該当するものの額		—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額			8	8
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額			4,560	3,520
	うち、一般貸倒引当金コア資本算入額		29	28
	うち、適格引当金コア資本算入額		4,530	3,492
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額			—	—
コア資本に係る基礎項目の額		(イ)	274,408	271,775
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額			4,265	3,942
	うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額		—	—
	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額		4,265	3,942
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額			—	—
適格引当金不足額			—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額			—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額			—	—
前払年金費用の額			15,250	14,268
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額			3	9
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額			—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額			—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額			—	—
	うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		—	—
	うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		—	—
	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額			—	—
	うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		—	—
	うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		—	—
	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		—	—
コア資本に係る調整項目の額		(ロ)	19,519	18,220
自己資本				
自己資本の額((イ)−(ロ))		(ハ)	254,889	253,555
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額			1,318,312	1,289,408
	うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		—	—
		うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
		うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額			—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額			53,467	49,433
フロア調整額			1,215,973	1,202,311
リスク・アセット等の額の合計額		(ニ)	2,587,754	2,541,154
自己資本比率				
自己資本比率((ハ)／(ニ))(%)			9.84%	9.97%